

2023年

# 秋 どうそ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満  
飯塚市鯉田2525-44  
TEL 25-3280

# つくります! newしいつがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

きのふこそ早苗とりしかいつのまに

稲葉そよぎて秋風の吹く

(よみ人知らず)

皆様、お元気ですか。

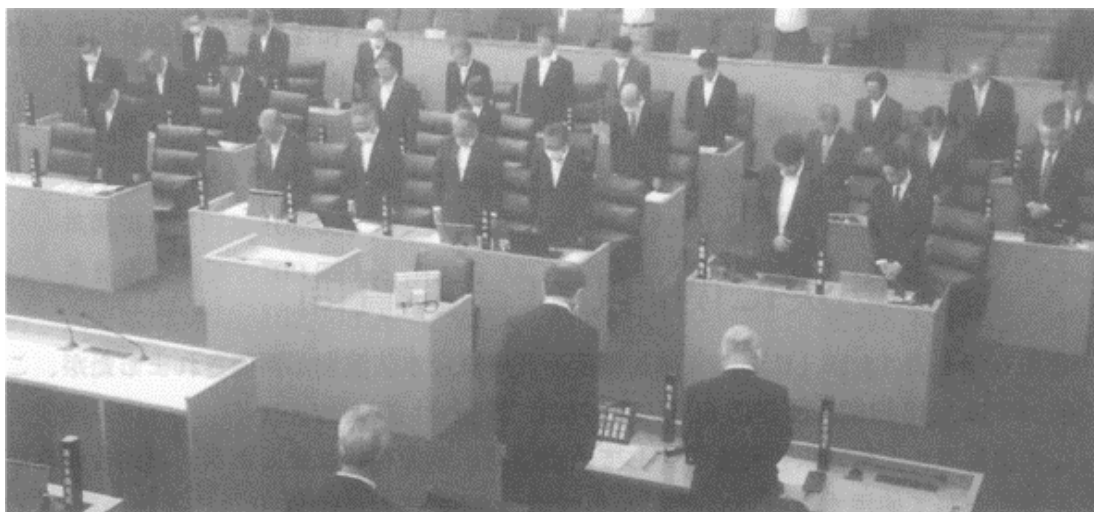
暑い日が続いた今年の夏もお彼岸を過ぎ、10月を前に秋風が吹き始めた感じが致します。

コロナウイルス感染症の予防接種の案内もあっていますが、一度感染しましたので様子を見ているところです。

マスクについては、多くの人が集まる場所では着用することを心がけています。

9月25日に、片峯飯塚市長が亡くなりました。(小中一貫校の整備を行い、児童・生徒の学力向上に取り組むとともに、新総合体育館の建設、飯塚駅周辺の整備計画等に積極的に取組まれ、また、企業誘致にも取組まれ雇用の拡大にも力を注がれていました。)

今後も、飯塚市のために頑張ってもらっていただいただけに非常に残念な気持ちでいます。



## 令和 5 年 9 月 定例市議会が開催されました。

飯塚市議会では、9 月 5 日から 9 月 27 日まで 9 月定例市議会が開催されました。

9 月定例市議会では、「防災に関連して・新総合体育館避難所運営訓練について」「市の所有する絵画等の管理について」「児童クラブについて」一般質問を行いました。

6 月定例市議会で提出致しました「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（議員定数を 28 人から 4 人削減し 24 人とする）」については、今後、市民の皆様のご意見を聞くアンケートを行うことになりました。

今回の定例市議会では、

### ○令和 5 年度飯塚市一般会計補正予算（第 4 号）

旧潤野小学校解体工事設計委託等解体に関連する経費 3,684 万 4 千円、市有地払下げ準備測量業務費 3,500 万円等合計 1 億 249 万 4 千円を補正して、補正後 906 億 7,935 万円 8 千円とするもの。

### ○令和 5 年度飯塚市水道事業会計補正予算（第 1 号）

上下水道利用金システム変更委託料（コンビニ代行業者変更・改修含む）459 万 3 千円を補正して、補正後水道事業費を 28 億 2,867 万 1 千円とするもの。

### ○飯塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例

口座振替割引を廃止するもの。（現在、口座振替 1 回当たり 110 円減額しているものを、令和 6 年 4 月 1 日から廃止）

### ○専決処分（7 月 10 日）の承認 令和 5 年度飯塚市一般会計補正予算（第 3 号）

令和 5 年 6 月・7 月の大雨災害復旧等に関する経費 4 億 9,731 万 5 千円を補正し、補正後 905 億 7,686 万 4 千円とするもの。

### ○認定議案

令和 4 年度飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定と、9 件の令和 4 年度特別会計の歳入歳出決算の認定。

令和 4 年度飯塚市水道事業会計決算の認定と、3 件の企業局の事業会計決算の認定  
その他、8 件の議案について審議をおこないました。

## 防災に関連して一般質問

令和 5 年 5 月 14 日（日）に令和 5 年度遠賀川総合水防演習が開催されましたが、この演習では、48 機関・団体約 600 人の参加者で行われました。

この演習は、大雨の水害時を想定して遠賀川河川敷で行われましたが、新総合体育館を避難所として使用する場合の運営訓練は行われていません。

新総合体育館の建設に際しての基本設計の中では、「市民の安全な暮らしを支える防災拠点」として活用するとの説明があつて整備されましたので、防災拠点としての運営訓練の実施を要望致しました。

質問 令和4年3月定例会市議会で、防災に関連して一般質問を行い、その際、飯塚市と各民間団体等との災害時の連携協定の状況についてお尋ねいたしましたが、現在、飯塚市のホームページによりますと、90件の各種の連携協定が結ばれています。今回の総合水防演習には、連携協定を結んでいる民間団体等は、何団体参加していましたか。

答弁 今回の演習は、主幹が遠賀川河川事務所であったため、国が締結している災害時等応援対策協定会社が訓練参加であり、飯塚市の連携協定企業の訓練参加はなかった。

質問 連携協定を結んでいる団体とは必要が生じた場合、それぞれの組織の市職員が、協定先に連絡することを想定している。今後は、連携が強化出来るように訓練実施を検討して行く考えを示されていましたが、団体の中で、これまで訓練を行った団体数はどの様になっていますか、また、その訓練の内容はどの様なものですか。

答弁 指定緊急避難場所の九州工業大学、物資供給の麻生芳雄商事(株)などと、連絡担当者、協力のタイミング、担当する役割について、連携体制の確認作業を行っている。

質問 訓練を実施していない団体との今後の訓練の予定については、どの様に取り組まれる予定ですか。

答弁 訓練の実施体制については、図上訓練を実施し、実働訓練が必要な場合には、予算措置を含め検討して行きたい。

質問 新しくできた総合体育館は災害時に対応する施設として建設されていると思いますが、どのような機能がありますか。

答弁 空調機能を有し、夏季、冬季でも、災害弱者を含め多くの避難者を受け入れることが可能。自家用発電設備・太陽光発電設備・地下に雨水貯留槽を設置しトイレ水洗に活用する機能を有している。周囲には、駐車場を完備し、併せて市民グラウンドもあることから、車中での避難など、多くの避難シチュエーションに対応が可能となっている。

質問 南海トラフ地震の際には、福岡県下は震度5程度の揺れがあると報道がされました。震災時の対策については、住民を含めた避難時の訓練も必要ではないかと考えます。総合体育館において地震を想定した避難訓練、避難所の運営訓練を実施する考えはありませんか。

答弁 総合体育館は、耐震構造のため多くの避難者を収容できる。また、周辺には市民

グラウンド等の大きな空間を有しているので、震災時には大きな役割を果たすことになると思う。その機能を十分に発揮するための訓練は必要と考えるので、関係機関と調整し訓練を実施したい。

## 市の所有する絵画等の管理について一般質問

市の所有する絵画等の管理については、以前から市民の財産であるので、整理し公開を要望してきましたが、市の管理状況の説明はこれまでありませんでしたので、その進捗状況を確認いたしました。

質問 ここ近年、野見山暁治さんの作品を購入されたと記憶していますが、飯塚市の所有する絵画等は何点になっていますか。

答弁 飯塚市が所有している美術品は、1,124点で、その内訳は、書が82点、絵画が945点、その他写真・掛軸・屏風等が97点となっている。その収蔵施設は、歴史資料館などの文化施設に816点、市庁舎などの公の施設に183点、小中学校に125点となっている。

質問 市の所有する絵画等の作品の、作者・購入、寄贈等の来歴については整理されていますか。

答弁 美術品のリスト等の整備については、収蔵施設での現地調査時に作品の注釈等を確認するほか、施設管理者等への聞き取りを行い美術品の種別、作者、作品名、規格、入手経路、購入価格、寄贈者などの把握できる情報について整理してリストを作成している。現状の整備状況は、1,124点中1,083点の確認作業が終了し、残る作品についても作業を進めていく。

質問 市の所有する絵画等についてホームページでどうすれば検索できますか。

答弁 約40点の作品について詳細確認が出来ていないので、現在公開は出来ていないが、今年度中に調査を完了し、ホームページで公開する準備を進めている。

## 児童クラブに関連して一般質問

### (児童センター遊戯室に冷房設備設置を要望)

この数年の気候を振り返って見ると、毎年5月の連休明けから9月末まで暑い日が続いている感じがいたします。

このような気候の中で、家庭の事情で児童クラブを利用する児童が増えています。

今年8月に開催された鯉田の子ども祭りの際に、児童クラブの遊戯室には冷房設備が整備されていない為、児童の過ごし方に不便が生じているとのご意見を頂きました。

国は、「児童育成支援拠点事業（学校や家以外の居場所支援）」を進めていることを踏まえ、市内各所の児童クラブの施設で暑さで利用が制限される場所には、冷房設備の整備をすることを要望致しました。

質問 「児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョン」が、令和2年3月飯塚市教育委員会から示されていますが、策定の背景はどの様になっていますか。

答弁 家庭教育の補完と、地域社会全体で子どもを見守り育てて行く体制が構築出来ると考え作成した。

質問 先の6月議会で「児童育成支援拠点事業（学校や家以外の居場所支援）」が新設されることになると国の方針が示されている事を一般質問で確認しましたが、児童クラブの役割は今以上に大切になって来るのではないかと思います。如何でしょうか。

答弁 核家族化や共働き家庭の増加は現在も続いており、児童クラブは、放課後の児童の安全・安心な居場所としての役割は今後も重要であると認識している。

質問 放課後児童クラブの実施場所、実施状況はどうなっていますか。

答弁 実施場所は、八木山小学校区を除く市内18校区に設置しており、全部で19か所あり、活動場所は、各小学校区の児童館・児童センターとなっている。利用児童数の多い校区では、小学校の余裕教室を活用している。

質問 運営体制と、現在の利用児童数、支援員数はどうなっていますか。

答弁 運営については、NPO法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会に委託、令和5年8月1日時点の利用児童数は、2,412名、支援員数は、125名となっているが特別支援教育支援員7名、及び、夏休み支援スタッフ25名を含め、合計157名で運営にあっている。

質問 放課後児童クラブの実施が始まる以前は、学童保育が実施されていましたが、その際の利用期間は、土曜日、春・夏・冬休みの期間は利用できませんでしたが、現在の利用期間はどうなっていますか。

答弁 現在は、平日の放課後に加え、土曜日、夏・冬・春休みの小学校の長期休業期間も開所しており、休所日は、日曜日、祝休日、8月13日から15日のお盆期間、12月29日から1月3日までの年末年始のみとなっている。

質問 今年を含め、近年の夏場は異常に気温が高い状況が続いて高温注意情報「熱中症警戒アラート」が毎日のように出されていますが、先ほどお尋ねしました放課後児童クラブの実施場所では、どの様に高温注意情報に対応しているのでしょうか。

答弁 全児童クラブに暑さ指数測定器を設置しアラームが鳴る様になっている。概ね気温が30度以上の場合は、遊戯室の利用を控えるようにしている。

質問 地球の温暖化はますます進み、二酸化炭素の排出削減等に取り組まなくてはなりません。今後も毎年5月を過ぎて10月頃までは、高温となる異常気象が続く

恐れがありますが、放課後児童クラブの利用場所で、気温の高温に対応する対策をするべきだと考えますが。市の考えをお尋ねいたします。

答弁 常に利用児童の体調を観察し、適時水分補給を促すとともに、遊戯室を使用する際には熱中症の危険性が無い場合に限ることを徹底する。また、小学校の余裕教室等を必要に応じて活用しているが、特に夏の放課後や夏休み期間中は、児童の安全安心な居場所や活動場所の確保のため、小学校と協議のうえ、冷房設備の利用可能な学校施設を活用して、集団活動や運動が出来るようにしている。

質問 現状の対応では、問題があるとの市民の方から意見がありましたので、現状を調査して不十分な部分があれば、改めて対応方法を考えて頂きたいと思います。

答弁 校舎の活用については、調査し来年度から反映できる形で対応していきたい。学校敷地内に併設されていない児童クラブもあり、こういった形で対応できるか研究を行っていく。

## 「議員定数のあり方に関する調査特別委員会」報告 (市民アンケート実施へ)

議員提出議案第7号「飯塚市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」について協議するため、特別委員会が先の6月定例会で設置され、9月27日まで4回委員会が開催されました。

特別委員会では、全議員で、広く市民の意見を聴き、1年を目途に市議会議員定数のあり方について協議し、今回提案致しました議員定数を24人にするかどうか、結論を出すことを決めています。

8月23日開催の2回目の特別委員会では、今後の議論の進め方について、各議員から提案を求め、6名の議員から提案が出された各提案内容、考え方についての質疑を行い、9月20日3回目の特別委員会を開催し協議を重ね、9月27日に4回目の委員会を開催し、採決を行い、「市民アンケートの実施」と「3名以内の学識経験者によるアドバイザーを設ける」ことを決めました。



（わたしは、市民の皆様が市議会の議員定数についてどのように考えられているのか、市民の皆様のご意見を聞くアンケート調査を提案致しました。）

今後は、市民アンケートの内容、実施時期等についての協議が行われることになると思います。

また、市議会議長あてに議員定数のあり方についての陳情書が 6 件届いていますが、その内の 1 件には、昨年 8 月に奈良県生駒市で実施された「議員定数に関するアンケート調査」の資料が添付されていました。（この生駒市の資料では、市内居住の 18 歳以上の 3,000 名を無作為に選び、無記名で回答をして頂くアンケートを実施しています。

## 議員提出議案第 7 号と提案に対する考えを、再度、掲載いたします。

### 「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を次のように定める。」

提案理由 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 91 条第 1 項の規定に基づき、飯塚市議会の議員の定数を 24 人と定めるため、本議案を提出するものである。

（飯塚市議会議員の定数を 28 人から 24 人とする。）

今年の 4 月に飯塚市議会議員選挙が行われましたが、福岡県内の政令市を除く人口 8 万人以上の自治体の議員数と、議員一人当たりの人口の状況を比較してみると、飯塚市議会の議員定数は、24 人でも議会運営には差し支えないと考えます。

令和 5 年 5 月末時点の各自治体の人口状況

	人口	議員定数（女性議員数）	人口/議員定数
久留米市	302,091 人	36 人（6 人）	8,392 人
春日市	112,496 人	20 人（6 人）	5,625 人
大牟田市	107,484 人	23 人（6 人）	4,674 人
筑紫野市	106,492 人	22 人（5 人）	4,841 人
糸島市	103,729 人	20 人（3 人）	5,187 人
大野城市	102,706 人	20 人（6 人）	5,136 人
宗像市	097,063 人	20 人（3 人）	4,854 人
飯塚市	125,282 人	28 人（1 人）	4,475 人

議員一人当たりの人口を見てみると、飯塚市が一番少ないことが分かります。2025 年の飯塚市の将来人口は、市独自の推計では 123,148 人。（2,134 人減少）

市の独自推計値 123,148 人を 28 人で割ると、議員 1 人当たりの人口は、4,399 人  
 市の独自推計値 123,148 人を 24 人で割ると、議員 1 人当たりの人口は、5,132 人  
 2025 年の飯塚市の将来人口、九州経済調査協会の推計では 122,211 人。(3,071 人減少)  
 九経調推計人口では、28 人の議員一人当たりの人口は、4,364 人  
 24 人の議員一人当たりの人口は、5,092 人となります。

2019 年 6 月市議会で、定数を 28 人から 24 人と議決したものを、市議会議員選挙の実施が翌年と近くなった 2022 年 6 月市議会で、「多様な意見を聞く」との理由で、24 人から 28 人と戻されましたが、議員一人当たりの人口が多い自治体の議員は、多様な意見を聞いていないのでしょうか。

コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻により、食料品・電気料金・日用品等と幅広い分野で値上がりが続いており、さらに、国では増税についても議論され、今後、市民の皆様の負担が一層増える傾向にあり、飯塚市議会も経費削減に取り組むべきだと考えます。

(議員一人当たりの年間経費は、約 974 万円で、議員定数を 28 人から 24 人にする、1 年間で約 3,890 万円、4 年間では約 1 億 5,560 万円の削減効果が期待できます。)

なお、本条例案の審議にあたっては、今定例会において即決することなく、議員定数のあり方について、広く市民の意見を聴いたうえで、全議員による協議を行い、1 年後を目途に、結論を出して頂くことを提案致しました。

## 「議会基本条例」について江口議長が諮問

江口議長が、9 月定例市議会最終日の 9 月 27 日の午前 9 時半より開催された議会運営委員会に、議長権限で、「議会基本条例」の制定の可否を突然、口頭で諮問致しました。

議会運営委員会では、この口頭による諮問の方法は如何なものか、諮問をするならば文章で諮問内容を示すべきだと委員より指摘があり、議会運営委員会の正副委員長の預かりとなりました。

尚、「議会基本条例」については、令和元年の 12 月定例市議会の開催時、わたしと、佐藤清和議員と、田中武春議員の 3 人で、議員提出議案として「飯塚市議会基本条例」を提案致しましたが、反問権の条文について理解が得られず、出席議員 27 名中、賛成 8 名、反対 19 名で否決された経緯があります。(江口議員も条例制定に反対されました。)

(平成 30 年 11 月では、全国 814 市中 495 市が、議会基本条例を制定していました。)

何故、反対されていた江口議員が、今回、議長となり、議会運営委員会に条例の制定の目的・内容も提示しないで諮問したのか説明があっていません。

また、市議会の議長は、議長権限で条例の制定の可否を、議会運営委員会に諮問することが出来るのか、確認して行こうと思っています。